

2021-06

東海村

環境

自然  
地形  
生物

作品タイトル

# アカマツとクロマツの分布マップ

## 解説

東海村

キーワード: マツ枯れ 地球温暖化対策

村内の松林について文献や地図の調査をふまえ、現地でも丹念に調査をしています。アカマツはピンク、クロマツは青で示すことによって、沿岸域と内陸部における分布の違いが一目でわかります。現地調査をもとに、クロマツが海岸線から200mの砂質の土壤に分布していることなど、アカマツの分布との違いを明らかにしています。また、人の出入りが出来ない場所のクロマツが立ち枯れていることに気づくなど、マツの生育状況から植栽や保護との関係にも触れています。第22回いばらき児童地図作品展の優秀賞を受賞しました。

## 制作者

江戸川学園取手中学校 1年(黒澤 美樹)

## 制作者による紹介

「昔はアカマツ林があって松茸を取りに行く人がいた。」と祖母から聞きました。国道245号線沿いのマツ林を観察したところ、クロマツとアカマツがそれぞれ多い場所があることに気づきました。そこでアカマツとクロマツにすみ分けがあるのか知りたいと思い、自然分布を調べ、地図を作成しました。マツ林が少なくなっており、地球温暖化防止のためにも森林環境の保護が大切であることをみんなに知ってもらいたいと思いました。

地図作品の対象地域がみられます。

## 地理院地図



縮尺を調整してご覧下さい。

地理院地図では、地形図のほか、年代別空中写真、地形分類、土地利用など、さまざまな地域の様子を知ることができます。

地理院地図の使い方については国土地理院のHPに詳しく紹介しています。

<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/>

茨城県の市町村の位置と地域は茨城県HPをご参照ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/towns/>

茨城県市町村区域図では旧市町村界もわかります。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/shichoson/gyosei/documents/30.pdf>

---

こちらのサイトでも地図をみることができます。

## Google マップ